

くべき増加となつてゐるのである

この土地を中心とした等議の特徵的な動きを見ると

第一に小作人の生活が苦しくなり小作米を拂ふにも拂はず数年もつれた結果の土地引上、區劃整理、農救土木事業等による土地引上が新らしく加わりまた土地賣ニゲ等が多いがまた地主が高小作米を搾取するために従來の小作人から土地を取り上げ新小作人に小作せしむる等の原因による土地引上を見逃してはならない、而して之等の土地引上は依然として未組織農民か日本農民組合同盟、協調組合、單獨組合等に多いが此の場合多くは小作官若くは警官によつて強制調停が行なわれ小作人は泣く泣く土地を返還してゐるのであるが若しも小作人が全家族の生命を守る爲に地主の土地引上に反對せんか地主は警察在郷軍人消防組青年團等の援助をりけ立入禁止をもつて小作

人を壓殺する暴虐な方法を取るものであるが吾々貧農小作人は如何なる原因、手段による土地引上にせよ、吾々の生活を脅威するものである以上決死的闘争によつて土地を死守せねばならぬ

實行方法 略

小作法反對の件

理由

本部提案

貧農小作人の生活は愈々苦しくなり政府の農村救済土木事業は小作人から土地を引上げ却つて小作人の生活を脅かしてゐるし地主小作人の階級闘争は激増し尖鋭化してきたため齋藤内閣は來るべき六十五議會に再び小作法を上提せんとしてゐるのである、その内容は

- 一、小作契約の第三者に對する效力
- 二、小作地質貸權の譲渡